

<h1>第 367 回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	記録
	企画運営委員長 保科	企画運営委員長 保科

- ◎ 日 時：2024年4月19日（金）10時00分～16時30分
- ◎ 場 所：きゅりあん+リモート併催（Zoom）
- ◎ 出席者：20名（法人会員11名8社、個人会員9名、他0名）

## 1. 開会挨拶・トピックス紹介、他

10：00～10：10 企画運営委員長 保科 修一 氏

- ・一般社団法人 安全技術応用研究会の設立は、5月または6月の予定

## 2. 自己紹介「最近の状況、災害事例、技術動向、困っていること、など」

10：10～11：30 月例会参加者全員

## 3. 技術講演「なぜ人は間違いを犯すのか？」

13：00～14：00 企画運営委員 石原 立憲 氏

### 概要

- ・予定されていた技術講演「どのようにして機械安全を社内展開するか？」の開始時刻が、14時からに繰り下げられたため、急遽、石原氏より本公演を行っていただいた。

## 4. 技術講演「どのようにして機械安全を社内展開するか？（関西委員会）」

14：00～15：00 個人会員 緒方 禎郎 氏

### 概要

- ・労働安全衛生法第3条、および、機械の包括的な安全基準に関する指針で要求されている機械安全は、法規上の努力義務の位置付けであるため、企業ごとの運用の濃淡が大きく、その成否の鍵は経営者が握っている。経営者に機械安全を知ってもらい、適切に運用してもらうためには、いろいろなアプローチが必要である。これまで、関西委員会で議論してきた社内展開のためのアプローチを紹介した。

## 5. 課題討議「どのようにして機械安全を社内展開するか？」

15：10～16：30 参加者全員

- ・討議時間が短縮されたため、主にユーザー企業が取り組むべき機械安全を対象にした。
- ・適切に展開するためには運用の標準化が必要であることに加えて、経営者の意識を変えていくための仕掛けが必要といった意見が出された。

## 6. 閉会挨拶・その他

- ・次回第368回月例会は、5月17日（金）13時00分～16時30分 リモートで開催予定。

月例会説明資料：ホームページ内の会員専用ページにて掲載

以上